

平成 27 年度第 3 回大船渡市総合教育会議会議録

1 日 時

平成 27 年 12 月 1 日（火） 午前 11 時 00 分から午前 11 時 35 分まで

2 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3 出 席 者

（構成員） 市長 戸田公明、 教育委員長 千葉雅夫、 教育委員 鈴木千恵子、
教育委員 熊谷テイ子、 教育長 今野洋二

（事務局） 教育次長 木川田大典、生涯学習課長 江刺雄輝、学校教育課長 千田晃一、
生涯学習課長補佐 佐藤 淳、学校教育課長補佐 村上佳之、教育研究所係
長 関戸文則、教育研究所指導主事 吉田武雄、 生涯学習課総務係長 今
野美智恵

4 報 告

なし

5 議 題

- (1) 大船渡市立小・中学校適正規模等基本方針（案）について

6 会議の概要

○開会

（教育次長）本日はお忙しい中、皆様にはご足労いただきましてありがとうございます。私は、会議の進行を務めさせていただきます教育次長の木川田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

ただいまから平成 27 年度第 3 回大船渡市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして、戸田市長からご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

○市長あいさつ

（市長）大変お忙しいところ、総合教育会議に出席いただきましてありがとうございます。みなさまには常日頃から教育行政はもとより、市政の各搬に渡りましてご支援ご協力賜っております。改めて感謝申し上げます。

本日、小中学校適正規模の検討ということでございますが、委員の皆様もご存知のとおり、平成 26 年度に 3 回、平成 27 年度には 4 回開催しております。これまで、学校現場の視察ですとか校長先生のご意見を伺ったり、あるいは適正規模適正配置に係る意見交換を

したり、他市の適正規模の進行状況を確認したり、そういったことを踏まえまして、11月12日第一次提言書が検討委員会から提出されたところでございます。

本日は、検討委員会によりまず第一次案につきまして後ほど事務局から説明いただき、それについてご質問・ご提言という形で協議してまいりたいと思いますのでどうか忌憚のないご意見をお願い申し上げましてあいさつといたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○意見交換

(教育次長) それでは、続きまして、次第の3、意見交換に移らせていただきます。お手元の資料「大船渡市立小・中学校適正規模等基本方針（案）」について事務局から説明いたします。

(学校教育課長) それでは私のほうからご説明を申し上げます。よろしくお願いいたします。

11月12日に大船渡市立小・中学校適正規模等検討委員会から第一次提言を提出していただきました。この提言に基づきまして作成したものが、大船渡市立小・中学校適正規模等基本方針（案）でございます。別紙の大船渡市立小・中学校適正規模等基本方針（案）をご覧ください。

ページを返していただきまして、目次でございます。基本方針（案）は、Ⅰ大船渡市立小・中学校適正規模等基本方針の策定にあたってからⅡ現状と推移見込み、Ⅲ小中学校適正規模の考え方、Ⅳ小中学校適正配置の考え方、Ⅴ大船渡市立小・中学校適正規模等基本方針の五つの柱からなっております。

1 ページをご覧ください。Ⅰ大船渡市立小・中学校適正規模等基本方針の策定にあたっての1趣旨でございますが、学校規模がある程度の人数を確保することが必要であることや児童生徒数の減少による学級数の減少が学校教育では極めて重大な影響を生じていること、最適な学校教育の環境を整えることが最も重要な教育行政の一つであることとして小中学校の適正規模・適正配置について基本的な方針を策定したものでございます。

2 大船渡市立小・中学校適正規模等検討委員会の提言では、市内各種団体や学識経験者、学校関係者で構成する大船渡市立小・中学校適正規模等検討委員会から適正規模・適正配置の基本的な考え方等について提言を受けまして、基本方針に反映させることとしたところでございます。

2 ページから6 ページまでは現状と推移見込みでございます。2 ページ下のグラフをご覧いただければ、児童生徒数は今後も減少傾向が続くものと見られるところでございます。

3 ページの3 学校規模・配置現状でございますが、単式学級では、同年代の児童生徒で編制する1学級あたりの人数は、小学校1、2年生の場合は各学年35人、3年生から6年生までは40人。中学校は、1年生35人、2、3年生は各学年40人となっております。②複式学級では、引き続き2の学年で編制する場合、いわゆる複式学級でございますが、1学級あたりの人数は、小学校の1年生を含む場合は8人、2年生から6年生は16人、中学校では全学年8人となっております。

3 ページ下の表（2）平成 27 年度学校規模をみますと、蛸ノ浦小学校をご覧ください。2 年生が 5 名、3 年生が 6 名ということで併せて 11 名なので複式学級となっております。それから 5、6 年生のところは 9 人と 8 人で併せて 17 名でございますが、特別支援学級の児童が 2 名おりますので普通学級の編制では 15 名となることから複式学級となっております。

5 ページ 4 今後の学校規模（児童生徒数及び学級数）の推移予測をご覧ください。学校の配置が現在のまま推移した場合、平成 33 年度には、小学校で学級編制できる学校は 1 校のみとなり、9 校が 1 学年 1 学級、2 校で複式学級が設置されることとなります。また、中学校では、6 校で 1 学年 1 学級となるため、教科によっては常勤講師の配置ができなくなり、免許外申請の許可による専門ではない教員が増加することが予想されます。併せて部活動が自校のみで成り立たなくなる学校が増加し、大会等へは合同チームによる参加が増えることが予想されます。

6 ページⅢ小中学校適正規模の考え方でございます。1 適性規模の考え方では、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、思考力や問題解決能力を身につけさせることが重要であるとの観点から、一定規模の集団の確保が望ましいというのが適正規模の考え方でございます。検討委員会からは、規模等については小学校と中学校では考え方を別にして取り扱うべきであることとして提言されてございます。小学校では地域に根ざした生活環境の中に学校があること、中学校では一定規模のまとまった集団での生活が望ましいとまとめております。

7 ページ 2 教育の質的向上をご覧ください。適正規模等検討委員会からは教育の質的向上の観点から複式学級の措置の解消、中学校では専門外の教科担任が増えること、部活動の選択の制限などデメリットが多くなる傾向から、一定程度の集団が必要と提言されております。このようなことから大きく三点、（1）教育の質的向上の観点から、可能な限り複式学級の解消を検討すること、（2）地域と一体となった学校運営等を目指すものとする、（3）中学校においては、授業のみならず特別活動や部活動など、教育全般での質的向上が図られるよう検討することとまとめてございます。

7 ページ下、Ⅳ小中学校適正配置の考え方では、遠距離通学となる場合には通学時間や地理的要因も考慮して、通学手段を検討する必要があるとしておるところでございます。距離につきましては、小学校では 4 km 以上、中学校では 6 km 以上を遠距離通学と定め、遠距離通学となる場合は、公共交通機関の運行状況を見極めることやスクールバスの運行等の検討を示してございます。

8 ページ 2 地域における学校の位置付けでは、地域との連携等につきまして、（1）学校規模適正化により学校統合を検討する場合は、地域住民の十分な理解を得ながら薦めること、（2）地域の特性を生かした学校運営の工夫を検討する必要があるとまとめてございます。

最後にⅤ大船渡市立小・中学校適正規模等基本方針でございますが、1 学校規模の基本

方針でございますが、五つの基本方針でございます。（１）11 学級以下の小規模校であっても、地理的要因を考慮して存続させること、（２）小学校では可能な限り複式学級の措置を行わないようにすること、（３）複式学級の措置がとられていない場合でも教育環境に良い影響が与えられる場合は学校統合を推進すること、（４）中学校の学校規模は、部活動の充実、各教科の専門性に係る教職員の確保、各学年 2 学年以上の学級編制が可能な体制を整えるよう努めること、（５）保護者や地域住民への丁寧な説明、以上が学校規模の基本方針でございます。

9 ページ 2 学校配置の基本方針では、4 つの基本方針を上げております。（１）小学校は、地域のコミュニティの場として重視し、小規模校であっても存続に努めること。但し、複式学級が継続する可能性が高い学校においては、統合に向けた検討を行うこと、（２）中学校は、児童生徒分布や通学手段等を考慮して配置を検討すること、（３）小学校では 4 km 以上、中学校で 6 km 以上を遠距離通学区域として、交通手段の確保や通学に要する費用等の支援を行うこと、（４）遠距離通学とならない場合においても、学校統合等により通学の状況が変わった地域は、必要に応じて通学手段の検討を行うこと。以上が学校配置の基本方針でございます。

（案）につきましては以上でございます。よろしくお願いいたします。

（教育次長）今回、11 月 12 日の検討委員会からの提言を受けまして、市としての基本方針を定めることで、現在（案）を作成しているところでございます。11 月 27 日の教育委員会定例会で協議したところでございますし、12 月 24 日に予定されております市議会全員協議会で議員の皆様からご意見をいただき、協議しながら今後策定してまいりたいと思います。策定後に、今度は適性配置計画を検討委員会にお願いして、配置計画の検討をしていただきます。関係団体や地域との懇談会を開催しながら平成 28 年度中に配置計画を策定したいと考えております。今回はその基になります市としての基本方針案でございます。それでは、このことにつきましてみなさまからご質問等ございましたら伺いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。質問等ありますでしょうか。なければ意見交換に移らせていただきます。

（鈴木委員）一点だけ質問よろしいでしょうか。11 月 12 日に検討委員会から提言がありまして、新聞等に掲載されましたが、学校や教育委員会に地域などから何か質問や意見とかそういった形で届いている声はあるのでしょうか。

（学校教育課長）私のほうにはございませんが、今日、赤崎小学校さんから複式学級ができるとき、上の学年下の学年が組めるときにはどうなのだろうかという問い合わせがございました。保護者等からは特にございません。

（教育次長）それでは、意見交換に移らせていただきます。よろしくお願いいたします。

（熊谷委員）11 月 12 日に適正規模等検討委員会から提言がなされ、今日までの短い期間によくまとめられていると思います。学校規模の基本方針の中に（8 ページ）、11 学級以下の小規模校であっても、地理的要因等を考慮して存続させることはやむを得ないものと位

置づけるとありますが、良いことだと思います。また複式学級の措置がとられていない場合においても、一定程度の集団を形成することで教育環境に良い影響が与えられる場合には、積極的な学校統合を推進するとありますが、近い将来に向けて提言されているところがよかったと思います。

(市長) いずれ、この小中学校適正規模等基本方針については、12月下旬に市議会の全員協議会に図られます。そこで、議員の皆様から意見を出していただくことになります。議員の皆様が意見を出すというのは、背景には市民の皆様から自分の地区の議員さんに意見を言っていただくという意味から、平成33年度までのクラスの予測値(5ページ)が出されているので、市民の皆様は何らかの形でお知らせして各地域、学校地域ごとに意見が出されるようになると思います。PTAの方々はすでにご存知かもしれませんが、これを意識して市内の適正規模方針について議論が進む環境づくりというのを努めていただきたいと思います。数値というのは、市民の皆様は感覚では分かっているけど、こういうことになるのと知らないのではないかなと思うので、きちっとお知らせするというのは大事だと思いますので努力していただきたいと思います。

(委員長) 検討委員会の提言でございますが、大船渡市の地域実態あるいは地域性等を十分踏まえた提言になっております。そういう意味では大変妥当な提言をいただいていると感じております。適正規模いわゆる統廃合でございますが、昔から地域の想いが交錯する大変難しい問題でございますので、方針等もきちっとあるのでございますが、地域あるいは父母の理解を得る努力は大事にしていかなければならないと思います。熊谷委員さんからもご意見がありましたが、方針の中で、これから長期的に大事にしていかなければならないと思うことは、複式学級の無い学校においても地域の気運の高まりあるいは地域の合意形成等いただけるのであれば、統合を充分検討しながら進める考え方を大事にしていってほしいのではないかと思います。というのも、各学年1学級という学校が多いわけで、複式にこだわらないで、これは長期的な問題ですが、充分検討を踏まえていくのが大事なのではないかと思います。いずれにしても、市長さんからもお話がありましたが、教育委員会あるいは様々な行政機関からの父母地域への不断の情報提供を今後とも大事にしていかなければならないと思います。

(市長) ここでは言いにくいかもしれませんが、最後に学校規模の基本方針が五つ書いてあります。項目一つ一つが大船渡市の各学校のクラス数、人数の現状を見て抽象論として一般的にまとめたんだらうと思いますが、いずれ機会をみて教育委員会としてどういう事をイメージしているのかというのを我々に伝えていただければイメージがつくと思います。

(教育長) これから検討委員会で具体的な基本計画作りに入ります。その中で、小学校の周りで対象になるような学校については、周りがどのようになっていくのか考えるわけであり。その提言を受けて市としての基本計画を作るという段取りになりますので、その真意を見守っていきたいと思っております。

(鈴木委員) 直接この基本方針(案)とは関係がありませんが、先週「いわて教育の日のつ

どい」に出席してきた際の講演の中で、未来の子どもたちが生きていくために必要なこれからの教育という中身で、5大原則を話しておりました。一つ目が主体的に生きていく、二つ目が多様な人々と生きていく、協力して生きていく、ほかにもありましたが、その中で、本市の検討委員会から出された提言が非常に納得できるものでした。主体的に多様な人々と生きていく子どもたちを育てる上で、この提言はすばらしいのではないかと実感しております。

(教育長) 総合教育会議の中では市長さんからこの基本方針を市としての基本方針にしてよろしいかということのお話をいただくわけでしょうか。

(教育次長) 今回の基本方針の中身について、それぞれ皆さんの想いをお話いただければと思いますし、意見交換をしていただければと思っております。

(市長) 後で私からもお話はさせていただきますが、まち・ひと・しごと創生総合戦略として人口が減らないように努力して参りたいと思います。一方で交通事情もメインになってきますので、今回のこれを踏まえた将来の構造、配置のあり方、今後おそらく生まれる子どもが減らないような努力を行政としてはしていきます。今回のアクションが数十年にわたって参りますので、慎重に方針につながってやっていきたいと思います。地域の交通事情も徐々に良くなってきておりますし、そういったものを勘案しながら児童生徒に最適な教育環境を提供する、あるいは教育だけではなくて学校の附属活動のクラブ活動の場を提供していくのは非常に大事なことだと思いますし、方針に基づいて実現していければと思っております。

(熊谷委員) 複式学級の体験者から伺ったことがあるのですが、3年生の時に社会とかは3年生と4年生と一緒にやるそうなのですが、3年生が4年生に上がると今度は3年生の社会を勉強する、国語とか算数は自習が多くなりすごく嫌だったという切なる言葉を聞いておりますので、複式はできるだけ避けるということは本当によかったと思います。

(市長) 私も小学校時代、複式学級のある地区から生徒さんが小学校4年生だったと思いますが合流するという経験をしましたが、何かこう違いを感じました。小学校3年、4年、5年の未発達な精神状態の頃なのですが、何か感じたものですね。複式学級というのは出来るだけ避けるべきだなと思います。

(鈴木委員) 一覧表などの資料に人数が記載されておりますが、男女の内訳は記載されておりませんが、男女比についても非常に大きな影響があると思います。一つの例として、12人の中に女子11人男子1人ということで入学する時がありまして、結局その男の子は親御さんの願いで別の学校に入学することがありました。男の子1人で6年間過ごさせるのは酷だということがありますし、今はまた時代が違うのかもしれませんが、当時はそういったことがありました。また、現在、私の知っている中学校でも極端に男女比が差がついていて、いろんな活動をするにも男女の差が無いといいながらもやっぱりしなければいけないこともありますし、教育的な活動も制限されることも考慮しなければいけないのかなと思います。

(委員長) 私もこの前、授業交流会に出席した中学校で男子が 12 人、女子が 2 人というところがありました。校長先生とお話したところ、以前は女子 1 人だったが 1 人転校してきて 2 人なったそうです。その子はすごく喜んだそうです。中学校は部活動など縦の関係もありますが、学級集団の生活が基本ですから、極端に男女比に差があると気持ち的に不安な要素も出てくるので、そういう視点は大事なかなと思います。先ほどきちんといいましたが、そういう意味でもこの基本方針に異論はございません。

(鈴木委員) 実際にその子は近所の子どもでございしますが、もう一人の子が何かの事情で休むと、自分一人になって学校にいるのがつらいというか一日が長くて休むのが分かったと学校に行くのに気が重いなと聞いたことがあります。現実問題としてこういったこともあります。

(教育次長) ありがとうございます。意見交換はそろそろとして最後に市長からお願いします。

(市長) ただいまは貴重なご意見をいただきました。皆様のご意見を総合いたしますと適正規模等基本方針（案）については適切な内容であるという意見でございました。私自身もそのように思います。ぜひこれを 12 月下旬の市議会全員協議会にお謀りいただいて市の最終的な基本方針としてお願いしたいと思います。

(教育次長) ありがとうございます。今後の日程につきましては、先ほどお話ししたとおりでございまして、今月下旬の市議会全員協議会に諮らせていただきまして、その後、基本方針を策定させていただきたいと思います。本日は様々な意見をいただきました。特に地域、保護者等に不断の情報提供をということで、色々な手法を使いまして市民の皆様の理解を得られるよう進めて参りたいと考えております。以上を持ちまして第 3 回大船渡市総合教育会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。